

須木中だより

第8号 令和元年8月26日発行

1 学期後半がスタート

夏休みが終わり、本日より1学期後半がスタートしました。37日間の休みでしたが、この間、剣道部が出場した県中学校総合体育大会、ふるさとプロジェクト、すき花火大会に伴うボランティア活動など、子どもたちは積極的に各種行事に参加し、頑張ってくれました。

そして、何よりも一番うれしかったのは、大きな事故や怪我が無かったことです。これは子どもたち一人一人の安全を意識した行動とご家庭での声かけの指導があったからだと思います。

今日は1校時に休み明け集会を行いました。代表生徒3名が夏休みの反省と後半にかける思いを述べてくれました。



共通していたことは、「夏休みの課題への取組」とこれから行われる「期末テストに向けての意気込み」でした。

20日(火)のサマースクールで課題点検を実施していることもあり、ほとんどの生徒が課題を終えつつあります。本日まだ、提出が完了していない生徒のみなさんは、一日でも早く終わってほしいと願っています。

集会の後半では学習面について担当の中山先生より話がありました。



特に明日から30日(金)までの4日間実施する『学習規律徹底週間』については詳しく説明して

いただきました。

子どもたちにとって授業は最も重要です。中でも立腰(姿勢)がしっかりとできているかは、学習内容の理解につながっていきます。

また、挙手の仕方(まっすぐ)、発表の時の声の大きさ、最後までしっかり話すことについても話がありました。

点検表を活用して職員も子どもたちとともに毎時間チェックしていきます。この活動が授業に対する意識の高揚につながっていくことを期待しています。

また、生活面では小田先生より規則正しい生活と交通安全について、保健面では深海先生より夏休み中の虫歯治療の状況や来月行われる「お弁当の日」の取組について話がありました。

終了後は、身なりチェックを実施しておりますので、ご家庭でも確認をお願いいたします。

1学期後半もご協力をよろしくお願いいたします。



青少年育成市民会議須木支部総会



先月22日(月)に本年度の小林市青少年育成市民会議須木支部総会が須木総合ふるさとセンターで開催されました。

会に先立って、これまで鳥田町いちょう太鼓や剣道の指導等で貢献されてきている栗原英作様への表彰が行われました。



会議では本年度の支部長である假屋公宏様のあいさつの後、協議。

本年度も12月から1月にかけて人権・あいさつに関する標語の募集を行うことが決定しました。また、須木駐在所の櫻田様より『特殊詐欺』についての講話も行われ、総会は終了しました。本年度も須木支部の取組にご協力をお願いいたします。

すき花火大会

「第42回すき納涼花火大会」が10日(土)に本校運動場を会場に開催され、大勢の方々でたいへんな賑わいでした。前日及び翌日のボランティアも子どもたちは頑張ってくれました。当日の朝も準備に参加してくれた生徒がいました。



ステージでは「鳥田町いちょう太鼓」、「生徒会アピール」、さらに「募金のボランティア」にも熱心に取り組んでいました。実行委員会をはじめ、すきむらづくり協議会、須木商工会、他関係の皆様、本当にお疲れ様でした。

